シーン - 9 温暖化防止間伐推進事業

事業目的

森林の有する二酸化炭素吸収機能を十分に発揮させるためには,健全な森林の育成を促す間伐が必要ですが,林業を取り巻〈情勢が厳し〈間伐されていない森林が増加しています。このため間伐の実施に対する支援を強化し,温暖化防止を始めとする森林の公益的機能の向上を図ります。

事業効果

CO2年削減効果

5,989 t-CO₂

事業内容

平成26年度事業費 133,000千円

間 伐: 若齢林(11~25年生)の初回間伐,または,生育不良や搬出 条件が悪く,販売しても収入にならない間伐に対する補助

実施主体 市町村·森林組合·林業事業体等

【平成26年度】

事業量 約570ha

補助額 200,000円/ha以内

作業道整備:上記の間伐を効率的に実施し,維持管理するために必要な作業道の整備に対する補助

実施主体 市町村・森林組合・林業事業体等

【平成26年度】

事業量 約9,280m

補助額 2,000円/m以内



間伐の実施



作業道の整備

災害発生の恐れ



風倒被害や土砂流出による森林機能の低下が懸念されます。

現状



間伐の実施不足で林内が暗〈,立木も 細〈下草も育たない状態の森林が多〈あ ります。

税導入後のイメージ



林内が明る〈,さまざまな生物が暮らすことができ,将来にわたり,森林の公益的機能の発揮が期待されます。